カテーテルアブレーション治療を受ける方へ
（経皮的心筋焼灼術）

患者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

カテーテルアブレーション(経皮的心筋焼灼術)は心臓内に挿入した‘カテーテル’を用いて行う治療です。異常な心拍数の増加をもたらすような電気信号の‘発生源’、あるいはその‘通り道となる部分’を心臓の内部から高周波を直接心筋に当てる（高周波通電）ことにより焼灼し、根治を目指す治療法です。			退院基準：①穿刺部の出血がない　②発熱がない		特記事項：
	外来	入院当日（　/　）	治療当日（検査前）（　/　）	治療当日（検査後）	治療後1日目（　/　） 退院日
検査・ 治療・ 処置	●血液検査 ●胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影 ●心電図検査 上記の検査を行います。 	●外来で検査を受けていない場合、入院時に検査を行います。 ●医師の指示により、コロナの検査を行う場合があります。 ●入院時検温に伺います。 ●身長･体重測定を行います。 ●医師の指示により心電図モニターを装着する場合があります。 ●リストバンドを付けます。	●治療前に検温に伺います。 ●青い検査着に着替えていただきます。下にシャツや肌着は着ないで下さい。 ●治療前より点滴をはじめます。 ●お手洗いをお済ませください。	●検温及び観察に伺います。 ＊帰室時 ＊1時間後 ＊3時間後 ＊安静解除時 ※医師の指示により何度も伺うこともあります。 ※足・肘の管が抜けた後は2時間おきに4回伺います。 ●心電図モニターを装着します。 ●出血や腫れがありましたらお知らせください。	●血液検査 ●心電図検査、胸部レントゲン検査を行います。 ●検温にうかがいます。 ●心電図モニターをはずします。
薬剤		**●普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。** ●中止していただくお薬があればお知らせします。 それ以外のお薬はいつもどおり飲んでください。 ●内服は看護師管理になります。	□午前治療の場合 7～9時頃から点滴を始めます。 □午後治療の場合 11時頃から点滴を始めます。 （点滴挿入時に血液検査を行います。） ●中止する薬が、 ある（　　） なし 治療前日にお知らせします。	●治療後も点滴を継続します。 基本的には安静解除後に終了します。	
安静度・ リハビリ テーション	●普段通りの生活ができます。	●病棟内歩行できます。		●足から治療の場合、４～８時間程度の安静になります。（病状により異なります。） その後医師の指示により安静解除となります。 それまで出血予防の為，穿刺部位の下肢を固定します。	●病院内歩行できます。
排泄	●制限はありません。		●治療・安静が長時間になるため、尿の管を入れさせていただきます。不都合がある場合は申し出てください。	●ベッド上安静の時は、ベッド上での排泄になります。	●制限ありません。
清潔	●入浴できます。	●足の付け根の毛剃りを行います。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯、眼鏡、化粧、マニュキア、コンタクトレンズは外してください。 	●入浴できません。	●シャワー浴できます。
食事・ 栄養管理		●普通食になります。 医師の指示で治療食になる場合もあります。	●午前に治療される方の朝食は絶食です。 ●午後に治療される方の昼食は絶食です。	●治療後から食事は可能です。	
説明・ 指導・ 教育	●治療・同意書の説明を行います。	●病棟の案内をします。 ●治療前後の経過について説明します。 （医師・看護師） ●薬剤師から薬の説明があります。 		●足の付け根にある圧迫玉は安静解除時医師がはずします。（場合によっては翌朝となります） ●治療後，基本的には元の病室への帰室となります 病状によっては集中治療室に入ります。	●看護師から退院の説明をします。 □次回外来受診日 □内服説明